

☆ 歯冠修復陶材・クラウン・ブリッジ (3)

新製品とか新素材とかは、市場に出て実際歯科治療なり臨床に供されるまでには結構時間と日時が必要のようです。MBなども当初は焼成時にクラックが入るとか、気泡があるとかメタルと陶材の収縮比率の問題とか、いろいろと懸念や失敗もあったものです。それが材料の改良改善が行われ今ではそんな懸念も嘘のようです。今インセラムやジルコニアなども割れるのでは懸念が抱かれる向きもあるようですが、最早これも前述のMBと同様で特にジルコニアは新素材でもあり、メタルではない為に強度について不安視される向きもあります。これはすでに解決済みで、メタルと同程度以上とも言われる強度を有するジルコニアが破折する要因はなく破折は陶材であり、ジルコニアのコーピングが陶材厚さの不均一から破折がおきると判明しております。これは既に解決済みです。

営業部 西元健一
スイングウェッジ・メタルプレート
 このたび、オー・プランからスイングウェッジATの金属床が登場しました。
 特徴 ○ 唇側にメタルのクラスプが見えない
 ○ 着脱時に残存歯に抵抗を与えない
 などの利点があり、残存歯にも優しく審美的にも優れております。また、着脱が容易なため体に障害のある患者さんに喜ばれると聞いております
 後日、この模型を持参して先生方に見て頂きたい、お伺いさせていただきますのでその節は、宜しくお願い致します。



技工士 宮當信行
 患者さんが、鏡を見たときに金属が見えない！メタルプレートを製作してみました！！クラスプが、ユルい！キツイ！これは、設計時のアンダーカット量が原因の大半ですが、これらを解決する方法の一つとして、スイングロック或いはスギナカリーゲル等を今までは設計時に提案させて頂きました。
 この**スイング ウェッジ アタッチメント**ですと数年して、維持力が減少した場合でも容易にチェアサイドで維持力の回復が可能です。営業にお声をかけて頂きサンプル模型をご覧ください。

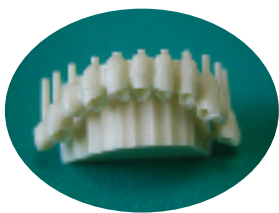


技工士 本庄義憲
印象の変形 下顎7のコアの作製で、残存歯は、 $\overline{2}$ $\overline{3}$ $\overline{4}$ $\overline{5}$ ・ $\overline{8}$ の片側模型で対合歯はあったのですが、チェックバイトはないまま対合歯と咬合させて製作。その後、コアがセットされた模型を対合歯と咬合させますと、前歯部と $\overline{4}$ ・ $\overline{8}$ は当たっており、 $\overline{5}$ は当たっていない。しかし、今度のチェックバイトでは噛み切っていました。そこで $\overline{8}$ を取り除いてみますと、 $\overline{4}$ $\overline{5}$ は当たっており、 $\overline{6}$ $\overline{7}$ のコアも当たっていました。これは、コアの印象時、 $\overline{8}$ がトレーからはみ出たまま石膏を流し、印象が変形し $\overline{8}$ が下がった為と思われる。そして、コア製作時はバイトが高い状態でコアが製作されたと思われる。その模型の変形が見て取れなかったことが悔やまれた事例でありました。

営業部 越塚克公
 いつも大変お世話になっております。
 今回はジルコニアについて少し述べたいと思います。ジルコニアは単体でも色調の選択も可能になり、色調の再現性が改良されております。
 また、メタルアレルギー対しても、歯肉を健全な状態に保ち審美性においても、従来のポーセレンと何等遜色の無い色調を有しております。
 是非患者さんにお薦めください。
 当社からのお勧めでもあります。



イオンコーティング
 チタンによるFCK・HRF
 インプラント上部構造まで



ジルコニアのコーピング
 ロングスパンも
 可能になりました



金属床のバージョンUP
 唇側にクラスプを無くした
 スイングウェッジ金属床

株式会社 **オー・プラン・ラボトリー**

〒661-0022 兵庫県尼崎市尾浜町1丁目29-1

TEL: 06-6426-5291 FAX: 06-6426-5292

E-Mail: webmaster@opl.co.jp URL: <http://www.opl.co.jp>

ご意見やご質問は、webmaster@opl.co.jp(電子メール)までお願い致します。

□今後FAX不要の場合はお手数ですがFAX番号 _____ 記載の上、返信願います。